

緩和ケア認定看護師・認定看護管理者

胆沢病院 看護事務室 総看護師長

伊藤 ゆかり さん

Q 資格取得のきっかけを教えてください

勤務していた内科病棟で痛みに苦しむ患者の状態を主治医に的確に報告が出来ず、指示を貰うことが出来ませんでした。患者の最期の時間を苦しみの中で過ごさせてしまった申し訳なさから、専門的知識・技術の必要性を感じ資格取得に至りました。

Q 取得までの流れはどのようなものでしたか

脳神経外科・手術室・整形外科・泌尿器科・消化器外科・耳鼻科・消化器内科等での実務経験を経て医療局の「認定看護師教育課程派遣募集」に応募。派遣内定を頂き、認定看護師教育課程を受験。学内での研修、緩和ケア病棟での実習を含め6か月間の研修を修了。認定審査に合格し資格取得。学校受験から認定審査まで1年半を要しました。

Q 研修中の様子を教えてください

「緩和ケア」分野は、課題レポートが他の分野より多く、常に提出締め切りに追われる日々でした。同じ志を持つ仲間と励ましあいながら頑張れた時間はかけがえのない宝物になっています。研修期間の半年間は、実現したい目標に向かって勉強だけに集中出来た贅沢な時間でした。

Q 資格取得後の院内での活動を教えてください

資格取得後、県立中央病院で緩和ケアチームの立ち上げに関わり4年間チームの専従看護師として院内横断的に活動。その後、中部病院へ異動となり新設の緩和ケア病棟看護師長としてスタッフと共に病棟運営に携わると共に研修を通じ緩和ケアの啓発活動を行ないました。また、緩和ケア認定看護師教育課程の実習施設であり、指導者として後進育成に努めました。

Q 現在、総看護師長として管理業務を行っていますが、認定看護師としての経験が役立っていることはありますか

資格取得後から15年が経過し、現在は総看護師長として管理的役割を担っています。ケアの対象は患者・家族からスタッフへと変わりましたが認定看護師活動で培ったコミュニケーションの技術は人材育成の場で活かされています。また、認定看護師としての経験が認定看護師達の活動支援や後進育成の場面で役にたっています。立場が変わっても現状をしっかり捉える事で認定看護師としての役割は果たせると感じています。

Q これから資格取得を目指す方へのアドバイスをお願いします

資格取得後、学んだ知識・技術を現場でどのように活かしていくのかという考えを明確にして研修に望む事をお勧めします。研修中、先が見えなくなった時に道標になります。また、目指す分野に関連する委員会活動を通して仲間づくりをする。資格取得後の活動を支援してくれる大きな力になります。

